

## 概要報告書

2020 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 アジア太平洋地域アディクション研究所
事業名	薬物事犯者に対する回復支援コーディネート事業
<p>2000 年から刑事司法手続の各段階にいる薬物依存の問題を抱えている人に対して具体的な回復の道筋をコーディネートすることを司法サポートと言って、主要な事業にしています。薬物事犯者が逮捕された時点から、回復プログラムができるように、裁判中に、ダルクなどの社会復帰施設や精神科病院を制限住居に設定して保釈中に回復・治療プログラムを受けてもらいます。受刑中の人には、出所時に入寮してもらうための回復施設を紹介し、施設の責任者に面会に行き直接会ってもらったり、入寮・入院後の人については面会に行き、プログラムの進捗状況をチェックしています。</p> <p>2020 年度は新型コロナウイルス対策のため、面会等で外出する際にはできるだけ車を利用して感染防止に努めました。また、2020 年 7 月から GO TO キャンペーンがはじまり年内は通常の 35%引で出張できたことで、より多くの人と面会することができたことは不幸中の幸いでした。</p> <p>活動実績としては、助成期間中に新たに 23 人と司法サポート契約を締結し、さらに以前からのクライアント及び契約外の支援対象者と合わせて合計 45 人のために、のべ 94 回出張するためにこの助成金を活用させていただきました。</p>	
 <p>本事業は事務局長尾田（左端）と、事務局次長志立（右端）が担当しています。写真中央は理事長でダルク創設者の近藤恒夫。</p>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。